

ASUMIN

【あすみんノート】

2019 Autumn

NOV 17

Possibility of sports

Special Issue

スポーツができること

Voice

森 省三 (NPO法人部活ガンバ)

GOOD ACTIVITY FILES

特定非営利活動法人日本シニアテニス連盟福岡支部
特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・福岡
特定非営利活動法人タグフェスタル
アビスパ福岡後援会

KNOWLEDGE

統計から見る、日本のスポーツについて

Asumin Information

Asumin Recommend

あすみんミュージアム

Hondana!

SNSを超える「第4の居場所」

Organization Introduction

登録団体紹介：登録番号671～684

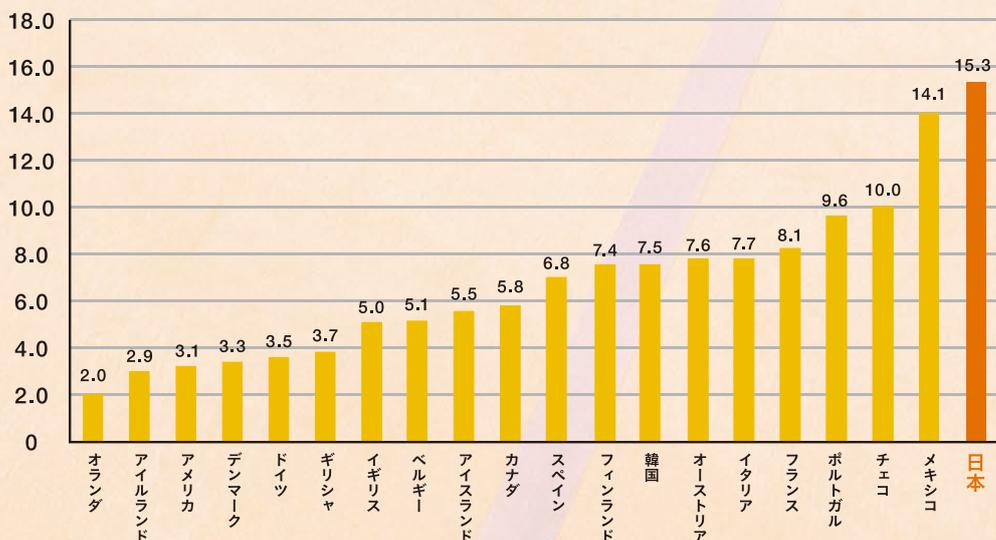
スポーツができること

Possibility of sports

今回のissue(論点)は、人と人とのつながり。近年、核家族化や少子高齢化、ライフスタイルの変化などにより、家族や地域が互いに支えあう「つながり」が失われつつあります。人と人とのつながりが希薄になってしまうことは、コミュニティの中でこれまでは緩やかに受け止められてきた、個人個人の「悩み」や「ストレス」をも社会に顕在化させてしまう深刻な問題へとつながっています。

そうした中、「する」「みる」「ささえる」と様々なかわり方がある『スポーツ』は、誰もが気軽に楽しみながら、人と人とのつながりを生み出せるものとして価値を高めています。健康の増進や体力の向上はもちろん、一つの目標に向かって達成感を味わったり、地域に誇りと愛着を感じたりと、地域に一体感を生み出し、活性化への手助けにもなっています。日本では、国際的なスポーツ大会が相次いで開催されることもあり、スポーツへの注目度はますます高まりつつあります。今回は、スポーツを通じて社会課題の解決を行う活動を中心に、人と人とのつながりを生み出す取り組みについて考えてみます。

●「家族以外の人」と交流のない人の割合(国際比較)



参照：厚生労働省「第1回社会保障審議会生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会資料」

VOICE

ボイス

NPO法人部活ガンバ

森 省三さん

Shozo Mori

活動の「きっかけ」は？

14年前まで中学校の教員として21年間、技術・家庭科を教えていました。大学では木材加工を専門としていましたが、技術・家庭科の授業に「情報とコンピュータ」分野が加えられたこともありパソコンを使うことが多くなりました。

独学で学んでいくうちに、先生方の役に立ちたいという思いから、高校入試の調査書をパソコンで作成できるソフトを開発するまでになりました。1996年(平成8年)に福岡市内の中学校にそのソフト(後に調査書作成「確実君」と命名)をフロッピーで配りましたが、そのフロッピーがコピーされてだんだん県内に広まっていきました。様々な文書が手書きの時代でしたので学校現場のニーズに合っていたためだと思います。北九州市や筑後地区から問い合わせがあったときはびっくりしましたが、とても嬉しかったです。フロッピーを配布してから5年後には「確実君」ホームページを立ち上げて県内のどこの中学校でもダウンロードできるようにしました。それにより「確実君」はさらに広がり、県内の約9割の学校が使うまでになり、中学校現

今回のvoiceでは、部活動の情報を発信し、子どもたちの記録を残すだけでなく、共有することで人と人をつなぐ仕組みにする「NPO法人部活ガンバ」の森省三さんにお話をうかがいました。

場になくはないソフトとなりました。中学校の先生の中では「確実君」の森先生」として有名人となりました。(笑)



▲部活ガンバホームページ

ソフトの開発やサポートにはとても手間と時間がかかっていましたが、先生方に喜んでもらえるのが嬉しくて、毎年のバージョンアップやサポートにも力が入りました。教諭時代には、水泳部や陸上部、ソフトテニス部など、部活の顧問を務めていましたが、中でも水泳部は福岡市の専門部長をするなど、大会運営の中心となって活動していました。教員生活21年のうち18年は水泳部に関わっていました。

当時の部活の情報は？

当時、大会などの結果は新聞で見ることができなかったのですが、そこに載るのは上位の子もだけなのです。だけど、成績の良し悪しに関係なくみんなガンバっています。だから、区大会ぐらいからは、成績を残してあげたいとか、写真も載せてあげたいと、ずっと思っていました。それと同時に、情報を共有してみんなで部活を応援できる仕組みが作りたかったです。情報が共有できると、例えばお父さんが会社で自

分の子どもの部活の話ができるとか、試合の日にスケジュールを空けて見に行けたりとかできるようになります。家族の中に、子どもの部活を通じたコミュニケーションが生まれることになればと願っていました。

そこで、今から20年ぐらい前の話なので、まだインターネットが学校に入ってきたばかりの頃でしたけど、「部活ガンバ」の前身となる福岡県の水泳部の大会ホームページを立ち上げました。情報が共有できるホームページは顧問の先生方にとっても子ども達、保護者にとってもとても便利なものでした。

どうして教員をやめたんですか？

部活に関するホームページを運営するほかに、赴任した学校のホームページを作ったり、他の先生たちにパソコンでわからないところを教えたりしていました。勤務している学校だけでなく他校からの依頼もあって県内の学校に出向いてパソコン講習会を行っていました。通常の学校業務の他に「確実君」の開発、サポートを10年間続けました。しかし、この活動は今後学校現場にと

って必要なことと思う反面、これ以上のことは時間的にも限界があると感じていました。2006年の元旦にこれからの生き方を考えました。「部活ガンバ」の構想は以前からありましたので「確実君」を通じた県内の先生方とのネットワークを活用すれば誰にもできない部活動のサポートができると思いました。そして「確実君」と「部活ガンバ」で外から学校を支えようと教員を辞めることにしました。

ソフトを介したネットワークが生まれたのですね

教員を辞めると伝えたときはどの先生方も驚かれましたが、私のこれまでの活動をよくご存じの方は「やっぱり」と納得されていました。周囲はよく思い切った決断をしたと思われたようですが私が私にとっては自然なことでしたし、学校の役に立ちたいという思いがとても強く意欲に満ちあふれていました。「確実君」を使われていた先生方からも「部活ガンバ」に協力しますという言葉をとくさんいただいたのも大きな後押しとなりました。先生方とのネットワークで部活動情報も集まりましたが、地域や競技によっては全く情報がないものもありました。しかしながら、「確実君」のスタートと同じように続けて行けば必ず世の中の役に立つサイ

トになるという自信がありました。2年目からは、福岡県中体連のホームページの運営を無償ではじめました。そうすることにより、それまで情報提供をお願いしていたのが、今度は各競技の先生方より情報を載せてくださいとお願いされるようになりました。これにより中学校の先生方との繋がりがさらに深まっていきました。

部活の情報は県内だけ？

基本は、福岡県内の情報だけです。福岡県はやっぱり人口も多いし、大会も多いので、見てくれる人も多いです。これを他県でやっても、情報も集まらず難しいと思います。もしビジネス的に成功するのであれば、他県でも誰かがやっているはずですよ。私には、教員としてのネットワークがあるからこそできていることなのです。また、中体連の紹介で、高体連のホームページも運用するようになり、その流れで情報が私のホームページ「部活ガンバ」にも集まるようになりました。一般的に高校野球はすごくアクセス数が多いのですが、福岡県の高校ではサッカーやラグビーもすごく人気です。高

体連のホームページでは、試合の組み合わせや結果は見られますが、途中経過は「部活ガンバ」で見てもらおうようにリンクをしています。2013年からは、その情報量、アクセス数が評価され、西日本新聞社と共働することになりました。どちらも、互いにwin-winの関係が築けていると思います。

これからの部活ガンバの展望は？

「部活ガンバ」にとって大事なことは「いかに続けるか」ということです。今は学校だけですが、もう中学・高校でやるべきことは十分かなと思っているので、学校の枠を超えた社会貢献がしたいと思っています。例えば野球は、小・中・高、大学、社会人もあります。今後は世代を超えたスポーツ・文化に関わる情報を集めた



ポータルサイトをやりたいと思っています。社会人でも様々なサークルがありそれぞれに活動をされています。それは「大人の部活動」と言っていると思います。その活動を紹介し、繋ぐことによって社会人の部活動が活性化し、福岡県のスポーツや文化活動が発展することに貢献していきたいです。実は私も部活をしています。それ

はフライングディスクを使用したゴルフであるディスクゴルフです。ディスクゴルフ歴は、30年以上になります。子どもの頃、私は運動が苦手でした。走ってもだめ、跳び箱も鉄棒もできない。でもスポーツは好きだから、高校生の頃からフリスビーで遊んでいました。学生時代にフリスビーはフライングディスク競技として大会があることを知り、チームを作って九州大会を運営するまでになりました。おとなしく内向的な性格でしたが、フリスビーに出会ったおかげでどんどん社交的になりました。ここに私の居場所があって仲間もできました。その繋がりが今でも続いていて仲間にも恵まれています。子供の頃スポーツが苦手だった私が現在では、自分に合ったスポーツに出会ったことにより豊かな人生を送ることができています。子ども達にも自分に合ったスポーツや文化活動がみつかるように様々な情報発信をしていきたいと思います。

NPO法人 部活ガンバ

部活動やクラブチームの活動、そのほかスポーツ活動に関わる人々に対して、競技会やチーム交流のための情報発信を行っています。

<http://www.bukatsuganba.com>

GOOD ACTIVITY FILES

グッド・アクティビティ・ファイル

このコーナーでは「社会にイイ活動=Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

29 | テニスで健康と長寿を目指す

特定非営利活動法人 日本シニアテニス連盟福岡支部

全国組織シニアテニス連盟の地方組織で、宗像・糟屋地区から大牟田までの南部福岡の地域です。テニス好きな男性60歳、女性50歳以上の会員で構成され、約630名ほどの会員がいます。今年15周年を迎えます。定期大会(参加者150名)、地区親睦大会(同50名)など春と秋を中心に、18大会を開催しています。大会を通じて、会員の健康の維持、親睦を回り、高齢者のテニスの普及発展に努め、健康にして幸せな老後を過ごし、社会に貢献することを目的としています。



30 | 障がいがあってもスポーツの喜びを感じる機会を

特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス日本・福岡

知的障がいのある人(以下 アスリート)には、余暇活動や社会参加の機会がまだまだ少ないという課題があります。アスリートたちにもっとスポーツを楽しんでもらおうと、活動機会を提供している国際的なNPOです。オリンピック競技に準じたさまざまな種目からそのトレーニングと競技の場を提供しており、国内大会の他、4年に1度夏季・冬季の世界大会も開催されます。参加したアスリートが喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かちあえることを目指しています。



31 | タグラグビーの普及を通じ、ラグビーの魅力を伝える

特定非営利活動法人タグフェスタ

ラグビーのルールや精神はそのままに、タックルなどの身体接触を一切除き、腰についた「タグ」を取る「タグラグビー」の普及活動を行なっています。老若男女問わず誰もが参加しやすく、プレーをしながらラグビーの楽しさに触れられることから、公民館などを拠点として各地区で教室を開催。福岡県内にある小学校の体育授業でも広く採用されています。また、ラグビーの魅力を伝える講演会やプロの試合を解説付きで観戦する教室なども開催し、一人でも多くのラグビーファンが増えるように日々活動しています。



32 | クラブを支え、ともに戦う

アビスパ福岡後援会

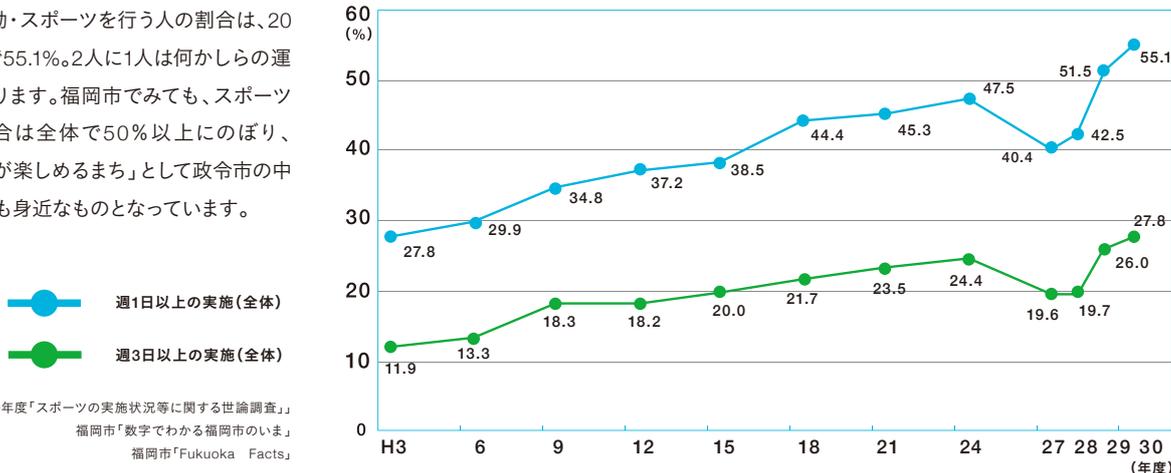
福岡市に拠点を置くプロサッカーチーム「アビスパ福岡」が、日本を代表するクラブへ成長し、子どもたちに夢と感動を届け、地域に誇りと活力を与えられるように支援をしています。入場ゲートでの試合情報誌の配布や、広場やコンコースでの案内、イベント運営補助など、その活動は様々。「元気」と「気配り」を合言葉に、試合を見に来た人にスタジアムで楽しく過ごしてもらえるよう、おもてなしの気持ちを持って活動に取り組んでいます。



統計から見る、日本のスポーツについて

1 日本人のスポーツ実施率は 55.1% (週1日以上)

全国で、週1日以上運動・スポーツを行う人の割合は、20歳以上の男女の平均で55.1%。2人に1人は何かしらの運動をしていることになります。福岡市でも、スポーツ活動をする市民の割合は全体で50%以上にのぼり、2016年には「スポーツが楽しめるまち」として政令市の中で1位になるほど、とても身近なものとなっています。



2 そもそもスポーツとは

誰もが自由に楽しめ、気を晴らせるもの

スポーツという言葉の由来はラテン語の「deportare」(デポルターレ)という単語だといわれています。デポルターレには、「運び去る、運搬する」という意味があり、そこから精神的な移動や転換なども含むものとなり、やがて「気分転換」といった「日々の生活から離れる」気晴らしや遊び、楽しみ、休養といった要素も指すようになりました。今日の「Sport」は19～20世紀にかけて世界で一般化した言葉です。勝利を追及したり、自由に身体を動かし自分のペースで取り組んだり、健康的で生き生きとした人生にするために、誰もが自由に楽しめるものなのです。

4 支えることで生まれるつながり

スポーツには、実際に体を動かすほかにも、プロチームやアスリートを支える楽しみ方もあります。平成30年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」によると、「スポーツボランティア」に参加した人の割合は10.6% (平成28年度:6.1%) と、徐々に社会に認知されるようになってきています。参加したきっかけは、「好きなスポーツの普及・支援」が20.6%ともっとも多く、次いで「出会い・交流の場」「地域での居場所、役割、生きがい」となっています。スポーツボランティアは、スポーツが身近に感じられると同時に、一緒に参加することで「生きがい」や「やりがい」が生まれ、人とのつながりを感じることができるのです。



3 ストレスの解消や病気予防に

スポーツをすることで、ストレス解消の効果

スポーツ庁がおこなった体力・運動調査によると、運動・スポーツのストレス解消効果を「大いに感じる」または「まあ感じる」と回答した割合(20代～70代)は、男女や年代を問わず、90～95%にものぼりました。こうした感覚的な評価に加え、医学的にも運動とストレスの関係は実証されており、さまざまな病気予防に役立つという研究結果も多くあります。

ストレス解消に効果がある

「大いに感じる」「まあ感じる」と答えた割合

90～95%

出典：スポーツ庁
「平成29年度体力・運動調査結果の概要及び報告書」

福岡で開催予定のスポーツ大会

福岡マラソン2019

～人をつなぐ。まちをつなぐ。未来へつなぐ。～

2019年(福岡市～糸島市)

11.10 SUN

※スタートエリア：渡辺通り天神交差点付近



第19回FINA世界水泳選手権2021福岡大会

～ WATER MEETS THE FUTURE ～

2021年(マリンメッセ福岡ほか)

7.16 TH ~ 8.1 SUN



あすみんのオススメ

Asumin Recommend

あすみんミュージアム

あすみんでは、市民公益活動につながる作品やレポートが展示できるスペースをご用意しています。『あすみんミュージアム』と呼ばれるこの展示スペースは、「作品をきっかけに活動に興味を持ってほしい」「いろんな新しいつながりが生まれてほしい」という思いからつくられました。これまで、書やイラスト、Tシャツなど、様々な展示にご利用いただいております。使用料は無料です。ぜひお気軽にご相談ください。



ミュージアムの利用について

- 希望展示期間の1ヶ月前に申込書をご提出ください。
- ご利用には、市民公益活動に関するものであることなど、条件がございます。予めご了承ください。

ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

SNSを超える「第4の居場所」

インターネットラジオ局「ゆめのたね」がつくる新・コミュニティ



ISBN: 978-4-909659-00-2
 定価: 1,512円(1,400円+税)
 判型: 四六判・並製
 ページ数: 260

現代社会には多様なコミュニティがありますが、それでも孤立してしまう若者はたくさんいます。本書では、インターネットラジオ局「ゆめのたね」がつくる新たなコミュニティ「第4の居場所」について、様々なバックグラウンドを持っているパーソナリティを通して紹介しています。どこに居場所を求めればいいのかわからない。だけど、前に進みたい。そんな人に読んでほしい一冊です。

【著者】岡田尚起, 佐藤大輔
 【発行】株式会社アンソナーブックス
 【発行年】2018年

登録団体紹介

Organization Introduction

あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号671~684)

- キャリコン・ネットワーク 彩(いろどり)
- NPO法人文化ボランティアとびうめの会
- NPO法人日本語サポートあさ
- 特定非営利活動法人子ども文化コミュニティ
- プロバシ カラカル サンク
- 福岡おやばか会
- Bluestar
- わくわくシニア福祉会
- 特定非営利活動法人アクションタウンラボ
- 福岡モラロジー事務所
- 特定非営利活動法人FUKUOKAデザインリーグ
- 福岡タイ友の会
- これから学ぶカフェ
- 一般社団法人ふるさと創成の会

登録有効期限のお知らせ

登録番号が【0001~0658】の団体は、2019年8月31日をもって、2019年度の登録有効期限が終了いたしました。未更新の場合は、部屋の予約やホームページの利用ができません。手続きがお済みでない団体は、お早めに手続きをお願いいたします。

必要な書類など、詳しくは窓口へお問い合わせください

利用団体登録について

check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。**福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります。**登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)、(8)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

登録に必要な書類

- (1) 福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2) 団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3) 活動計画書
- (4) これまでの活動実績がわかる資料
- (5) 役員名簿
- (6) 自己チェックシート
- (7) 印鑑
- (8) 申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住所】〒810-0021 福岡市中央区今泉1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】https://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 10:00~22:00 日・祝日 10:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ●七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
- バスをご利用の場合 ●西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分
- 電車をご利用の場合 ●西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分



HP



facebook

